

新春、煌めきのフルートと輝ける“新世界交響曲”

# 21世紀の “From the New World” 新世界

フルート  
高木綾子★  
*Ayako Takagi, Flute*

指揮  
瀬山智博  
*Tomohiro Syama, conductor*

〈モーツァルト〉  
フルート協奏曲 第1番★  
ト長調 K.313

〈ボルヌ〉  
カルメン幻想曲★

〈ドヴォルザーク〉  
交響曲 第9番 ホ短調  
「新世界より」 op.95

〔管弦楽〕  
関西フィルハーモニー管弦楽団  
*Kansai Philharmonic Orchestra*



2023 1.7 (土) 2:00pm 開演 (1:00pm 開場) ザ・シンフォニーホール  
A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円 (消費税込) 主催/朝日友の会、ABCぴあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

7.24 (日) 発売

- アスク プレイガイド  
06-6222-1145 [10:00~17:30 (土日祝定休)]
- ザ・シンフォニー チケットセンター  
06-6453-2333 [火曜定休]
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 219-880]
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 54246]
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ (webで予約・購入)  
ABCぴあ 検索 携帯サイトはこちら▶▶▶  
<http://abc-ticket.pia.jp/>  
24時間・座席選択可能! 入会費・年会費無料  
メルマガで優先予約をご案内!



ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000  
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ  
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

- ご来場前に、体調不良 (発熱や倦怠感など) および感染症陽性の方との濃厚接触がある方は、入館をご遠慮ください。
- ご来場の際は、マスク着用の上、咳エチケット、手洗い、手指の消毒をお願いします。
- なお、入り口にて検温を実施する場合がございます。37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
- 詳しくは、〈ABCクラシックガイド〉のホームページをご確認ください。

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

# 21世紀の新世界

"From the New World"

清々しい新年の空気の中、ザ・シンフォニーホールで「初感動」をお楽しみいただく「21世紀の新世界」、今回は前半に華やぎのソリストをお迎えします！現代日本最高のフルーティスト、高木綾子さんによるとびきりのプログラムです。日本管打楽器コンクールフルート部門第1位、日本音楽コンクールフルート部門第1位など、数多くの栄光を築き上げてこられた高木綾子さん、フルート界だけでなく吹奏楽・オーケストラ界でも憧憬的です。フルートの魅力が最大限に発揮されるモーツァルトのフルート協奏曲第1番と、驚きの超絶技巧によって紡がれるボルヌのカルメン幻想曲、高木さんの艶やかな音色をご堪能ください。

後半は、渾身のドヴォルザークを築き上げて7年目になる瀬山智博マエストロと関西フィルによる熱演に期待しましょう。喜びと安らぎ、躍動に満ちた“新世界交響曲”が皆様へ特別なひと時をお届けします！新春の空駆けるフルートの響きと一年の始まりを勢いづける“新世界交響曲”、どうぞ素敵な一日をお過ごしください。



## 瀬山智博 [指揮]

Tomohiro Seyama, conductor

これまでにドイツ・マゲブルグ歌劇場、デッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴィンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮者を務め、オペラとシンフォニーの両分野において国際的な活動を続けている。2008年にドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルとして活動開始。2009年にウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してヨーロッパデビュー。その後、プレゲンツ音楽祭、グラフェネック音楽祭やトリノ王立歌劇場においてアシスタント指揮者を務め、2016年からはドイツ・マゲブルグ市立歌劇場のカベルマイスター(専属指揮者)として活動。ピゼー「カルメン」、ニコライ「ウィンザーの陽気な女房たち」、ロルツィング「密猟者」など、数々の公演を指揮し好評を博した。2003年からウィーン楽友協会合唱団のメンバーとして研鑽を積み、同合唱団コレペティートルとして活動。2018年からはトーンキュンストラ管弦楽団アシスタント指揮者、ウィーン少年合唱団の指導を務めるなど活動の場は多岐にわたる。ヨーロッパではこれまでにBBC交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ソフィア祝祭管弦楽団、ドイツ・マゲブルグ・フィルハーモニー管弦楽団、デッサウ・アンハルト州立管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥールなどを指揮。日本国内では東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団など、多数のオーケストラと共演を重ねている。3歳よりメキシコシティで音楽教育を受け始める。大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科、同大学院修了。指揮を湯浅勇治、小澤征爾、レオポルト・ハーガー、ウロシュ・ライオヴィチ、ファビオ・ルイジの各氏に師事。シエナ・キジアーナ音楽院オーケストラ指揮ディプロマ取得。シカゴ・ショルティコンクールセミファイナリスト、プザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。2019年よりオペラ・ヴェツラ指揮者、2021年よりノマドオペラ音楽監督を務める。

## 高木綾子 [フルート]

Ayako Takagi, flute

高木綾子は、確かなテクニックと、個性溢れる音色、ジャンルを超えた音楽性で、今最も注目を集める実力派フルート奏者である。テレビ・ラジオへの出演やCM出演など従来のクラシック演奏家の枠にとらわれない幅広い活動とレパートリーで各方面から注目を集めている。愛知県豊田市生まれ。3歳よりピアノ、8歳よりフルートを始める。東京藝術大学付属高校、東京藝術大学を経て、同大学院修了。これまでにフルートを西村智江、橋本量至、G.ノアック、小坂哲也、村上成美、金昌国、P.マイゼンの各氏に、室内楽を岡崎耕治氏に師事。高校、大学在学中よりその実力は高く評価されており、毎日新聞主催全日本学生音楽コンクール東京大会第1位(1995年)、神戸国際フルートコンクール奨励賞(1997年)、大学内にてNTT docomo奨学金を受け、安宅賞(1997年)、宝塚バガコンクール優勝(1999年)、日本フルートコンベンションコンクール優勝、併せてオーディエンス賞(1999年)、第17回日本管打楽器コンクール、フルート部門第1位及び特別賞(2000年)、第70回日本音楽コンクールフルート部門第1位(2001年)、第12回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞(2001年)、ジャン=ピエール・ランバル国際フルートコンクール第3位(2005年)、神戸国際フルートコンクール第3位(2005年)など多数の受賞歴を誇る。一方で、大学在学中より本格的な演奏活動を開始。これまでに国内主要オーケストラとの共演はもとより、新イタリア合奏団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ミラノ弦楽合奏団、サンクトペテルブルク交響楽団、フランチ・リスト室内管弦楽団などと共演。2004年秋にはパリ室内管弦楽団との共演でパリ・デビュー。それに続く日本ツアーにも同行し好評を博した。同時に各地でのリサイタルや室内楽など活発な演奏活動を行っている。2020年には、デビュー20周年を迎え、記念リサイタルを行った。CD録音も活発に行っており、2000年3月には「シシリエヌ〜フルート名曲集」、「卒業写真〜ブレイズ・ユミン・オン・フルート」を同時リリースしてCDデビュー。その後、「ジェントル・ドリームズ〜20世紀のフルート音楽」、「青春の輝き〜ブレイズ・カーペンターズ」を同時リリース、クラシックからボサノバまでラテンアメリカの作品を集めた「南の想い」、17世紀から現代までのフルート・ソロ曲を集めた「エール・ブルー〜青の余白」、イタリアで収録した新イタリア合奏団との共演による初めての協奏曲アルバム「イタリア」、大地、自然、生命の息吹をテーマにしたフルート名曲集「EARTH」、ギターと福田進一とのデュオアルバム「海へ」をリリースしてそのすべてが高い評価とセールス実績を残している。2010年には、デビュー10周年を記念して、ベスト盤(日本コロムビア)とモーツァルト：フルート協奏曲集(エイベックス・クラシックス)をリリース。2011年7月には、モーツァルトのフルート四重奏曲全曲集(エイベックス・クラシックス)をリリースして好評を博す。現在東京藝術大学准教授、および洗足学園音楽大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学、桐朋学園大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。



©FUJII



©yamamoto

## 関西フィルハーモニー管弦楽団 [管弦楽]

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2018年公益財団法人化。2020年楽団創立50周年。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年より桂冠名誉指揮者に就任。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結び、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。BSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30〜)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市

を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」(2021年1月23日ザ・シンフォニーホール)が、2021年度音楽クリティック・クラブ賞を受賞。

■ オフィシャル・ホームページ: <https://www.kansaiphil.jp/>